

毛髪中含有亜鉛濃度に影響をおよぼす要因

大妻女大短大      ○高橋ユリア

大妻女大社会情報      大森佐与子

目的 毛髪中ミネラルバランスは、健康管理や病態把握等の指標として有効であり、とくに亜鉛は、ストレス等による免疫機能低下や味覚障害の指標となりうることが報告されている。毛髪中亜鉛をはじめ、多元素濃度を測定し健康指標として使用する場合には、毛髪含有元素濃度に影響をおよぼす、内外要因を知ることは重要である。今回、健常人の毛髪中亜鉛濃度に異常高値が認められたことから、ふけとりシャンプーによる影響が考えられるので検討した。

方法 試料：健常人3人を対象に、2ヵ月間毎日同種のシャンプーおよびリンスを同量使用し、適時採髪し試料とした。さらに、使用中止後も適時採髪を行い試料とした。一方市販のシャンプーおよびリンス中の亜鉛測定を行った。分析方法：毛髪は放射化分析法により亜鉛を測定した。シャンプーおよびリンス中の亜鉛量は原子吸光分析法によった。

結果 ふけとりシャンプー、リンスを使用した毛髪中亜鉛濃度の経時変化を検討した。使用期間経過とともに毛髪中亜鉛濃度は高濃度となり、やがて上昇率が緩慢になった。また、使用中止後亜鉛濃度は減少するが緩慢であった。亜鉛増加率はシャンプー＋リンス、シャンプーのみ、リンスのみの使用の順であった。今回実験に用いたシャンプー中の亜鉛はリンスの3倍以上含有され、他の商品より多く含有されていた。従って毛髪中ミネラルバランスを健康指標とする場合、使用シャンプー、リンスの種類やおおよその使用期間をチェックする必要がある。